

公表:令和 2 年 4 月 1 日

事業所名 めくもりの森 北光

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		ある程度の構造化を図っており、ほぼ適切だと判断している。	
	②	職員の配置数は適切であるか		○			機能訓練が可能な指導員の充当が中長期的には必要である。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○			レイアウト及びプログラムの構造化において試行錯誤のお段階である。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		○		日々室内の清掃及び教材・遊具の洗浄・消毒に努めている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			○	気づいたことが判例法的に活きるよう、情報の共有に努めている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○			この年度末・初が当事業所開設以来初の評価なので、この結果を今後活かしたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○			この年度末・初が当事業所開設以来初の評価なので、この結果を今後活かしたい。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後は是非確立したい課題である。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			(工夫していること) 札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる担当者によるコンサルテーションを実施している。	
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか		○		保護者の子どもとのライフストーリーの聴き取りとスタッフの関与観察により実践を進めている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		自立課題・絵カードによるコミュニケーションなど試行錯誤している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		個別支援計画に項目を設けている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか		○		行っている	開設後半年を経過したところで、支援計画の当初の視座そのもの見直し評価を行っている
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			午前中の時間を利用して行っていた。	新型コロナの影響で朝から子どもたちが利用するので、現在は困難な状況にある
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			支援記録や関与観察による気づきをシェアし省察している。	

	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○			音楽療法や運動プログラムなどで集団と個別のプログラムを実施している。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			○	午前中の時間を利用して行っていた。	新型コロナの影響で朝から子どもたちが利用するので、現在は困難な状況にある	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○		支援後は速やかに子どもを送って帰宅するので行っていない。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			○	個別支援記録の記載は徹底している。		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか			○	支援記録に基づくモニタリングを保護者とシェアし、次の個別支援計画を策定している。		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1		○	正職員が参加している。		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか			○	会社として市の保健センターなどと連携している。		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					医療的ケアの必要な重症心身障害児はいない	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか						
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				○		未就学の子どもが少ない関係で、十分行えているとはいえない。今後の実践課題と考えている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				○		未就学の子どもが少ない関係で、十分行えているとはいえない。今後の実践課題と考えている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				○	保護者の了解の下、札幌市教育相談所での保護者面談への同席など行っている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				○		

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○		まだ参加していない。今後の実践課題である。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			○		送迎時などを利用し、保護者と子どもの日々のエピソードを共に振り返っている。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○		行っていない。今後CBTベースのトレーニングからナラティブベースのオープンダイアログを模索したい。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				行っている。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか			○		弊社の基本理念はICF-CYに依拠しており、保護者と面談の上同意を得ている。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○		個別に行っているがシステムとして確立していない。今後の実践課題の中心と考えている。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		今後早い機会に行いたい。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○		個々のケースに迅速に対応できるよう努めている。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				通信を毎月発行している。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				個人情報の取り扱いについて契約時に保護者と話し合い、文書による同意に基づき支援している。
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか			○		スケジュールボード・お話のカードなど利用している。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか			○	
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○		早い機会に実施する
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか			○		保護者と可能な限り確認している。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか		○		保護者と可能な限り確認している。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		その都度文書にして共通理解の上、記録として残している。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○			強い研究関心・実践経験を持つスタッフが在る反面、全体の研修は行っていない。今後実施したい。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○			記載していない。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:平成 年 月 日

事業所名 めくもりの森 北光

保護者等数(児童数)

4

回収数

割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4					
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	2	2				
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	2				
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	2				
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4					
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4					
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4					
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4					
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2		2			
保護者 への 説明 等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4					
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	4					
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	3		1			
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができてきているか	4					
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4					

	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3				
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	1				
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4					
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4					
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	4					
非常時の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	1				
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	3				
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	4					
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	4					

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。